TAC テクターP

環境にやさしい無公害の天然系高分子添加剤

●概 要

TACテクターPは、α-グルコースアミロペクチン(でんぷん)を主成分とした植物性の粘性付与剤です。

泥土圧シールド工法の添加材に利用する場合、粘性土地盤では 0.1%程度の濃度を 10~30%注入することで、カッター前面やチャンバー内での土砂の固着を防止します。また、細粒分の少ない砂礫地盤では、粘土ベントナイト溶液と併用して、水希釈に強い高粘性な性状に変化させます。

表 如 情報				
名称	TAC テクターP			
主成分	α - グルコースアミロペクチン(でんぷん)			
外観	白色粉体			
На	8.5 ~ 9.5			
かさ比重	0.3			
荷姿	15kg 袋			

製品情報

●お客様のメリット

- α-グルコースアミロペクチン(でんぷん)を主成分とする、天然に産する増粘安定剤で、環境に やさい無公害の材料です。
- 粒状加工により、水に対する溶解性が高く、また高濃度でストックするため、設備ヤードが小規模で済みます。
- 濃度を変化させることで、幅広い土質に対応可能です。



細粒分含有率と添加材濃度の関係

配合	細粒分含有率	TAC- β ΙΙ (kg/m³)	TAC テクター P (kg/m³)	水 (L/m³)	注入率 (%)	添加材の目的	
1	30%以上 および岩盤	_	1.0	1,000	25~30	固着防止	
2	20~29%	_	5.0	1,000	25~30	塑性流動化	
3	10~19%	_	20	1,000	25~30	塑性流動化・噴発防止	
4	~10%	315	4.5	879	30~35	塑性流動化•噴発防止	

●特 徴

 20kg/m^3 溶液で 0.5 dPa·s、 50kg/m^3 溶液で 2.0 dPa·s とベントナイト溶液相当の粘性を有しています。 また、ベントナイト溶液と併用することで、より粘性を向上させたテクターショックとしても使用できます。

添加材単独の粘性

TAC テクターP(天然系)溶液			
配合	粘 性		
20 kg/m³	0.5 dPa⋅s		
50 kg/m ³	2.0 dPa·s		

TAC-βII (鉱物系)溶液			
配合	粘 性		
347 kg/m^3	1.0 dPa·s		
384 kg/m^3	2.5 dPa·s		

テクターショックの粘性(TAC テクターP 溶液:TAC- βII 溶液=1:10)

TAC テクターP	TAC- <i>β</i> ΙΙ	粘 性
20kg × 1/11=1.8 kg/m ³	347kg × 10/11=315 kg/m ³	20.0 dPa·s
50kg × 1/11=4.5 kg/m ³	347kg × 10/11=315 kg/m³	40.0 dPa·s
20kg × 1/11=1.8 kg/m ³	384kg×10/11=349 kg/m³	60.0 dPa⋅s
50kg × 1/11=4.5 kg/m ³	384kg × 10/11=349 kg/m ³	70.0 dPa·s

※ビスコテスター使用:水の粘性:0.01dPa·s







テクターショックは任意に配合を選択でき、粘性体を瞬時に作成することができます。 この粘性体は握りしめても手に芯が残らず、流動性も併せ持つ掘削添加材としてご使用いただけます。

●主な施工実績

施工 着手年	発 注 者	工事名	施工者	施工場所	シールド 外径(mm)	採用目的
2014	滋賀県	愛東東幹線小田刈2工区 管渠工事	山東· 西村 JV	滋賀県	1,334	湖沼水質保全
2012	滋賀県	琵琶湖流域下水道東北部 愛東東幹線清水 2 工区 管渠工事	桑原組·高島 JV	滋賀県	1,339	湖沼水質保全
2006	国土交通省	福岡県 208 号矢部川橋 P2 基礎工事その 2	西松建設(株)	福岡県	推進 立坑構築	ケーソン滑材 (海苔養殖)
2005	国土交通省	福岡 208 号矢部川橋 P2 基礎工事	西松·大豊 JV	福岡県	推進 立坑構築	ケーソン滑材 (海苔養殖)
2005	滋賀県	琵琶湖流域下水道湖南中部 第2幹線若宮·上田工区 管渠工事	西松· 西村 JV	滋賀県	2,130	湖沼水質保全
2004	滋賀県	東北部長浜 第 2 幹線管渠工事	大日本・デロース JV	滋賀県	2,130	湖沼水質保全

